



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月1日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社
 コード番号 8158 URL <http://www.sodanikka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 長洲 崇彦
 (氏名) 安江 正人

TEL 03-3245-1803

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	22,206	△7.9	191	△51.9	262	△45.7	206	△33.8
28年3月期第1四半期	24,111	3.0	399	26.0	482	28.9	312	33.7

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △276百万円 (△138.1%) 28年3月期第1四半期 725百万円 (73.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	8.28	—
28年3月期第1四半期	12.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	50,472	20,021	39.7
28年3月期	52,258	20,473	39.2

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 20,021百万円 28年3月期 20,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,000	△5.4	470	△33.7	550	△32.9	390	△25.4	15.64
通期	103,000	6.9	1,350	4.6	1,500	1.4	980	17.3	39.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	25,168,000 株	28年3月期	25,168,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	225,980 株	28年3月期	225,980 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	24,942,020 株	28年3月期1Q	24,942,290 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国及び新興国経済の減速や円高の進行により国内企業の輸出や生産が停滞しており、先行き不透明な状況となっております。

当社グループに関係の深い化学工業界につきましても同様に輸出や国内生産が停滞しており、総じて厳しい事業環境となっております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、当連結会計年度より中期経営計画「Go forward STAGE 1」を始動させました。国内市場を5つの事業領域に分け、成長が期待される領域・業種ごとにニーズを汲んだ提案営業を推進するとともに、これまでと同じく中国・ASEAN地域における海外取引の拡大、環境関連ビジネスの強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高222億6百万円（前年同期比7.9%減）、営業利益1億9千1百万円（同51.9%減）、経常利益2億6千2百万円（同45.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億6百万円（同33.8%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「機能材事業」に含めていた一部商品について、報告セグメントの区分を「化学品事業」に変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

【化学品事業】

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダは取扱数量が増加したものの、市況の低迷により減収となりました。その他の商品では過酸化水素及び炭酸ソーダ、電池向けマンガン化合物は増収となりましたが、水酸化マグネシウム、活性炭は減収となりました。有機薬品につきましては、高分子凝集剤及び接着剤は需要が伸長し増収となりましたが、製紙用ラテックス及びその他の石油化学製品は原油安による市況下落により減収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ4.6%減の159億2千7百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ0.7%減の4億8千9百万円となりました。

【機能材事業】

包装材料につきましては、ポリプロピレンフィルム及びナイロンフィルムが増収となりましたが、複合フィルム及びポリエチレンフィルムは減収となりました。

合成樹脂につきましては、物流容器及び高機能樹脂が増収となりましたが、ポリエチレン樹脂は減収となりました。

機器類につきましては、機械器具設置工事及び包装関連機器が増収となりましたが、電気関連機器は大型案件の減少により減収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ16.5%減の56億3千7百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ45.7%減の1億7千5百万円となりました。

【その他事業】

その他事業につきましては、曹達日化商貿(上海)有限公司が減収となったことにより、売上高は前年同期に比べ3.7%減の6億4千1百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ96.0%減の1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【財政状態の分析】

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ17億8千5百万円減少いたしました。

増減の主なものは資産の部では、受取手形及び売掛金が10億5千2百万円、投資有価証券が6億6千9百万円それぞれ減少いたしました。負債の部では、支払手形及び買掛金が7億8千9百万円、短期借入金が1億6千9百万円、賞与引当金が1億1千8百万円、繰延税金負債が2億2百万円それぞれ減少いたしました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が4億3千2百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月10日に開示いたしました平成29年3月期の第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、最近の化学品事業、機能材事業及びその他事業の業績動向を踏まえ、次のとおり修正しております。

なお、通期連結業績予想につきましては、修正を行っておりません。

第2四半期累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	610	690	450	18 04
今回修正予想(B)	46,000	470	550	390	15 64
増減額(B-A)	△4,000	△140	△140	△60	—
増減率(%)	△8.0	△23.0	△20.3	△13.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	48,638	709	819	522	20 97

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,883	7,275
受取手形及び売掛金	30,952	29,900
商品及び製品	2,047	1,995
繰延税金資産	125	82
その他	900	469
貸倒引当金	△21	△27
流動資産合計	40,887	39,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	438	393
車両運搬具（純額）	9	10
土地	1,087	1,087
その他（純額）	170	240
有形固定資産合計	1,705	1,731
無形固定資産	66	62
投資その他の資産		
投資有価証券	8,897	8,228
長期貸付金	32	31
その他	711	764
貸倒引当金	△43	△43
投資その他の資産合計	9,598	8,981
固定資産合計	11,370	10,775
資産合計	52,258	50,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,882	22,092
短期借入金	5,308	5,138
未払法人税等	184	72
賞与引当金	251	133
役員賞与引当金	42	10
その他	536	587
流動負債合計	29,204	28,035
固定負債		
繰延税金負債	859	656
再評価に係る繰延税金負債	194	194
退職給付に係る負債	970	998
長期預り保証金	535	540
その他	21	25
固定負債合計	2,580	2,415
負債合計	31,784	30,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,130	3,130
利益剰余金	10,709	10,741
自己株式	△63	△63
株主資本合計	17,538	17,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,757	2,324
繰延ヘッジ損益	△10	△23
土地再評価差額金	147	147
為替換算調整勘定	120	80
退職給付に係る調整累計額	△80	△78
その他の包括利益累計額合計	2,934	2,451
純資産合計	20,473	20,021
負債純資産合計	52,258	50,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	24,111	22,206
売上原価	22,429	20,655
売上総利益	1,681	1,551
販売費及び一般管理費	1,281	1,359
営業利益	399	191
営業外収益		
受取利息及び配当金	80	85
その他	16	9
営業外収益合計	97	94
営業外費用		
支払利息	13	11
売上割引	1	1
その他	0	11
営業外費用合計	14	24
経常利益	482	262
特別利益		
負ののれん発生益	-	72
特別利益合計	-	72
特別損失		
段階取得に係る差損	-	23
特別損失合計	-	23
税金等調整前四半期純利益	482	311
法人税、住民税及び事業税	104	63
法人税等調整額	65	40
法人税等合計	170	104
四半期純利益	312	206
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	312	206

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	312	206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	415	△432
繰延ヘッジ損益	1	△13
土地再評価差額金	1	-
為替換算調整勘定	△4	△39
退職給付に係る調整額	△0	1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	-
その他の包括利益合計	413	△483
四半期包括利益	725	△276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	725	△276
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,690	6,754	665	24,111	—	24,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	480	480	△480	—
計	16,690	6,754	1,146	24,591	△480	24,111
セグメント利益	493	323	28	844	△445	399

(注)1.セグメント利益の調整額△445百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,927	5,637	641	22,206	—	22,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	493	493	△493	—
計	15,927	5,637	1,135	22,700	△493	22,206
セグメント利益	489	175	1	666	△474	191

(注)1.セグメント利益の調整額△474百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「機能材事業」に含めていた一部商品について、報告セグメントの区分を「化学品事業」に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。